

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート														
事務事業名		運動普及推進事業						予算事業名		運動普及推進事業費								
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	健康増進法									
			04	01	03	24	経常経費											
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう						事業の区分		主要事業									
	健康長寿で安心できる暮らしづくり																	
	健康づくりの推進						担当課係等		健康増進課									
事業期間		継続 (平成 8年度～ 年度)										健康増進係						
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】											
市民が日常的に運動を行い心身の健康が維持できるよう、運動の指導及び普及活動をし、地域での推進活動が活性化するボランティアである運動普及推進員を養成する。また、運動普及推進員と共に運動することで意義や楽しさを実感し健康づくりに取り組むことができる。							第2次健康日本21において、市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため、大きな柱として「身体活動の増加」「健康な食事」「禁煙」を推進している。											
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】											
市民向けの運動教室を開催し、心身の健康づくりのための運動を普及啓発する。 ・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催 運動普及推進養成のため、養成講習会を開催する。 ・8回コースで実施							20歳以上の市民及び運動普及推進員											
							【事業をとりまく環境の変化】 第2次健康日本21において、市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため、大きな柱として「身体活動の増加」「健康な食事」「禁煙」を推進している。											
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】										
・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催 ・運動普及推進員養成講習会開催				・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催				・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催 ・運動普及推進員養成講習会開催										
■事業費																		
			R02年度		R03年度													
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0											
	県		支	出	金	0	0											
	地		方		債	0	0											
	そ		の		他	0	0											
	一		般	財	源	50	198											
歳入計 (千円)			50		198													
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)													
	07	報償費	10		10													
	10	需用費	3		45													
	12	委託料	37		121													
	13	使用料及び賃借料	0		22													
歳出計 (千円) (A)			50		198													
伸び率 (%)					296.00													
備考	総合計画 49ページ																	
	予算書 103ページ																	

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	各種教室等の延べ実施回数	回	目標	18.00	19.00	19.00
	運動教室(リズ・ムエカサイズ教室・ステップ・ラダー運動教室・出前運動教室等)の延実施回数		実績	15.00	0.00	0.00
	運動普及推進員協力延人数	人	目標	90.00	90.00	90.00
	運動教室(リズ・ムエカサイズ教室・ステップ・ラダー運動教室・出前運動教室等)の延協力人数		実績	65.00	0.00	0.00
	リズ・ムエカサイズ教室参加延人数	人	目標	360.00	360.00	360.00
	毎月第1・第3月曜日に開催している教室の参加者数		実績	140.00	0.00	0.00
成果 指標	ウォーキングイベント参加者数	人	目標	50.00	50.00	50.00
	例年9月に開催している市民向けウォーキングイベントへの参加者数		実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	健康を増進するうえで運動を推進することは重要であり必要である。また、そのために運動の普及啓発を行う運動普及推進員を養成することは必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	健康日本21にも地域における運動の推進とあり、市民の健康づくりを市民団体が支援することは理想的ある。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的であり妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	推進員の高齢化や休会などから活動回数にバラつきが見られている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	教室やイベントについては広く市民向けに周知・広報を行っているが、参加者が常連化しており、新たな参加者が多くない状況である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	参加人数は横ばいであるが、運動教室やウォーキングイベントについては市民に定着しつつある状況である。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	各種教室の回数及び参加者数は横ばいの状況であるが、内容の充実を図るなどを行っており、市民が興味を持つような内容を実施している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各種運動教室等は市民に好評であり参加者も一定数いるが、参加者の固定化が見られる。また、運動普及推進員の高齢化のため指導側の参加率の低下がある。 コロナ禍における活動場所と手法の検討。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
若い世代の推進員の養成を行い、日常生活に取り入れることのできる運動を広く市民に普及する。今後も市民のニーズに応じた教室を開催していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 運動普及事業は市民の健康保持・増進のために重要な事業であるため、今後も地域や年代に応じた運動に関する課題に対し適切な運動を普及する必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。